

田原市の博物館

第21号

博物館年報—平成25年度

田原市博物館

目 次

展覧会一覧表	2
展示の記録	3
田原市博物館	
エントランスホール	3
常設展示室	3
廊下	4
二ノ丸櫓	7
渥美郷土資料館	
エントランスホール	7
常設展示室	7
貸しギャラリー	8
普及活動	9
収集活動	17
組織・決算	20
博物館友の会	22
博物館の課題	24

展覧会一覧表

■田原市博物館展覧会一覧

No.	展覧会名(上段:特別展示室 下段:企画展示室)	会期	入場者数(人)	観覧料
1	平常展「渡辺崋山が描く春」 「ひな人形と初凧展」	4.1～4.7	121	一般 210円 小・中 100円
2	企画展同時開催「渡辺崋山と山本栞谷」 企画展「田原の美術～川口四郎、入江竊・光太郎展」	4.13～5.26	1,590	一般 210円 小・中 100円
3	平常展「渡辺崋山・椿椿山の肖像画」 「田原の美術～仲谷孝夫・彦坂和夫展」 「田原藩と三宅家の200年－田原市博物館に残る古文書から－」	6.1～7.7	1,159	一般 210円 小・中 100円
4	平常展「渡辺崋山の師」 田原の生活～民俗「“ちょっと”昔の電化製品と生活用品たち」 「愛知県美術館サテライト展示～東三河ゆかりの作家」	7.13～9.8	1,599	一般 210円 小・中 100円
5	企画展「渡辺崋山・椿椿山が描く花・鳥・動物の美」	9.14～10.14	2,980	一般 500円 小・中 無料
6	特別展同時開催「渡辺崋山名品展」 特別展「渥美窯～国宝を生んだその美と技」	10.19～11.24	3,980	一般 500円 小・中 無料
7	企画展「没後50年 松林桂月展－水墨画を極め、画 中に詠う」	11.30～1.13	1,437	一般 400円 小・中 無料
8	平常展「渡辺崋山が学ぶ」	1.18～2.16	731	一般 210円 小・中 100円
9	平常展「渡辺崋山と弟子たち」 「ひな人形と初凧展」	2.22～4.6 (～3/31)	2,263	一般 210円 小・中 100円
計			15,860	

■田原市渥美郷土資料館展覧会一覧表

No.	展覧会名	会期	入場者数(人)	観覧料
1	企画展「田原の美術～川口四郎、入江竊・光太郎展」	4.13～5.26	663	無料
2	企画展「第28回風景の会絵画展 渥美半島に行く」	10.5～11.17	1,600	無料
3	企画展「第28回ひな祭り展」	2.1～3.16	2,654	無料
計			4,917	



■田原市博物館

エントランスホール

- ・ 華山立志像 昭和3年(1928) 高柳守次作
- ・ 映像ビデオ「渡辺華山の生涯」
90インチ大型スクリーン 放映時間10分
- ・ 渡辺華山年表 (パネル)
- ・ 華山没後の渡辺家 (パネル)
- ・ 田原藩御用船順応丸 (1/12模型) 島保製作

常設展示室

◎テーマ1 華山の生い立ち

- 華山生誕の地 (パネル)
- 華山略系図 (パネル)
- 華山愛用の花瓶
- 尋常小学修身書 三 明治32年(1899)
- 尋常小学修身書 複式編成学校第三四学年児童用 昭和8年(1933)
- エピソードパネル 立志・板橋の別れ

◎テーマ2 藩士としての華山

- 重要文化財 渡辺華山筆助郷書類 (複製) 天保9年(1838)
- 重要文化財 報民倉 (自筆篇額) 天保6年(1835)
- 報民倉の鍵
- 報民倉の棟札 天保6年(1835)
- 報民倉建設の褒賞賜盃
- 報民倉献米受領書 天保6年(1835)
- 褒状文書 (複製) 天保9年(1838) 原資料 巴江神社蔵

◎テーマ3 学者としての華山

- 学者の師友 (パネル)
- 渡辺登進書趣意書
- 市指定文化財 渡辺華山旧蔵書籍
- 文選 (田原市指定文化財渡辺華山旧蔵書籍109)
- 渡辺華山筆自筆手本忠孝 (重要文化財、複製)

◎テーマ4 画家としての華山

- 重要文化財 一掃百態図 (複製)
- 華山愛用の絵皿
- 画家の師友・門人 (パネル)
- 華山の絵画技法 (パネル)
- 渡辺華山印譜

◎テーマ5 外国事情の研究

- 蘭学研究の友人 (パネル)
- 赤羽根遠見番所の図 (参海雑誌より) (パネル)
- 三宅友信蘭書目録 (複製) 原資料 巴江神社蔵
- 市指定文化財 三宅友信所蔵蘭書
- 市指定文化財 伝鈴木春山自筆蘭書 (パネル)



江川垣庵製作の大砲模型（複製） 原資料 江川文庫蔵
 田原藩使用の砲弾鋳型と弾丸
 田原藩使用の測量器具
 エピソードパネル 江戸湾測量

◎テーマ6 蛮社の獄

重要文化財 渡辺崋山著慎機論（パネル） 原資料 国立国会図書館蔵
 高野長英著戊戌夢物語（パネル） 原資料 国立国会図書館憲政資料室寄託
 重要文化財 渡辺崋山筆自筆獄廷素描及び記録（複製・パネル）
 エピソードパネル 崋山を救済した人々

◎テーマ7 崋山の最後

池ノ原幽居生活（パネル）
 重要文化財 渡辺崋山筆自筆遺書（渡辺立宛）（複製）
 重要文化財 自決脇差（東播土祐國作）（パネル）
 重要文化財 渡辺崋山筆自筆墓表（複製）
 重要文化財 渡辺崋山筆自筆遺書（椿椿山宛）（複製）



廊下

◎渡辺崋山関係図書

平成25年4月2日(火)～4月7日(日) （以下、図書名、発行年、編著者名、発行社、所蔵の順）

竹田と崋山	明治39年(1905)	兼松亀吉郎	東陽堂支店
中央美術第6巻 第1号	大正9年(1916)		
真偽評価書画鑑定指針第三巻崋山及系統	昭和11年(1936)	吉岡班嶺	第一書房
少年物語渡邊崋山	昭和43年(1968)	田原町教育委員会	
原色日本の美術18南画と写生画	昭和44年(1969)	小学館	
津和野ものがたり2津和野の誇る人びと	平成4年(1992)	津和野歴史シリーズ刊行会	
生誕200年・田原町博物館開館記念特別展渡辺崋山とその師友展	平成5年(1993)	田原町博物館	
島根県立美術館記念展Ⅲ島根の美術	平成11年(1999)	島根県立美術館	
少年物語渡邊崋山	平成12年(2000)	財団法人崋山会	



新収藏品展渡辺崋山とその門下の魅力	平成12年(2000)	田原市博物館
渡辺崋山と関係画家～館蔵名品選	平成20年(2008)	田原市博物館
平成25年4月13日(土)～5月26日(日)		
文人画三大家集	明治42年(1908)	
南画十大家集	明治42年(1908)	審美書院
真偽評価書画鑑定指針第三巻崋山及系統	昭和11年(1936)	吉岡班嶺 第一書房
津和野ものがたり 2津和野の誇る人びと	昭和26年(1951)	津和野歴史シリーズ刊行会
新収藏品展渡辺崋山とその門下の魅力	平成12年(2000)	田原市博物館
島根県立美術館記念展Ⅲ島根の美術	平成11年(1999)	島根県立美術館
平成25年6月1日(土)～7月7日(日)		
生誕200年・田原町博物館開館記念特別展渡辺崋山とその師友展	平成5年(1993)	田原町博物館
平成6年秋の企画展椿椿山展	平成6年(1994)	田原町博物館
平成7年秋の企画展日本の夜明け展～崋山とその同志	平成7年(1995)	田原町博物館
田原町博物館開館10周年記念特別展出光美術館所蔵文人画名品展	平成15年(2003)	田原町博物館
平成17年特別展渡辺崋山・椿椿山が描く人物画	平成17年(2005)	田原市博物館
平成18年秋の企画展福田半香展	平成18年(2006)	田原市博物館
断面日本絵画史	昭和63年(1988)	松原茂著 図書出版
美術研究 第十八号「崋山の肖像画」	昭和8年(1933)	東京国立文化財研究所 古川弘文館
平成25年7月13日(土)～9月8日(日)		
文晁画譜	文久2年(1862)	東都書林
文晁画譜	文久2年(1862)	
文晁山水画譜	文久4年(1864)	須原屋伊八
文晁	大正15年(1926)	萬鉄五郎 アルス
日本美術協会報告第35輯	昭和10年(1935)	財団法人日本美術協会
日本名山図会	昭和45年(1970)	図書刊行会
江戸名作画帖全集Ⅲ文人画(3) 文晁・崋山・椿山	平成5年(1993)	駿々堂出版株式会社
古画総覧 文人画系1	平成18年(2006)	佐々木承平・佐々木正子編 国書刊行会
国華 1273号谷文晁筆富岳図屏風	平成13年(2001)	星野鈴 国華社
写山楼谷文晁のすべて	平成14年(2002)	渥美國泰 里文出版
国華 1291号谷文晁筆金碧青緑山水図	平成15年(2003)	武田光一 国華社
国華 1321号特別講演 渡邊崋山の肖像画について	平成17年(2005)	ドナルド・キーン 国華社
国華 1323号渡邊崋山筆田園雑興・三月図・五月図	平成18年(2006)	小林忠 国華社
国華 1355号山水癖の絵画－谷文晁筆「東北地方写生図」をめぐって	平成20年(2008)	内山淳一 国華社



平成25年10月19日(土)～11月24日(日)

渡辺崋山遺墨帖

崋山

近代日本の夜明け展

少年物語 渡邊崋山

崋山先生を語る

渡辺崋山先生錦心図譜上巻

田原パシフィックロータリークラブ創立500回記念例会記念誌

崋山会報第17号

崋山会報第24号

平成25年11月30日(土)～平成26年1月13日(月)

田能村竹田

塔影(松林桂月 表紙)

明城先生を語る

塔影「崋山と竹田」

塔影(松林桂月 表紙)

塔影「崋山先生と鄭所南」 松林桂月

塔影「崋山先生の画業」 松林桂月

櫻雲洞詩鈔

松林桂月画集

松林桂月遺墨集

三彩514 特集松林桂月

三彩516 松林桂月遺稿集 桜雲洞随録2

三彩517 松林桂月遺稿集 桜雲洞随録3

三彩518 松林桂月遺稿集 桜雲洞随録4

三彩519 松林桂月遺稿集 桜雲洞随録5

古美術 第93号崋山より桂月まで-過眼録の系譜

アサヒグラフ別冊松林桂月

櫻雲洞随録

平成26年1月18日(土)～平成26年2月16日(日)

孫子詳解

伊藤鳳山

言志四録-全四巻-

日本を創った人びと瀧澤馬琴

大分県先哲叢書大蔵永常資料集第三巻

世界の文学88南総里見八犬伝

明治44年(1911) 崋山会

昭和37年(1962) 菅沼貞三編 東京中日新聞出版局

昭和42年(1967) 朝日新聞社

昭和43年(1968) 小沢耕一編 田原町教育委員会

昭和52年(1977) 東京美術青年会

昭和52年(1977) 図書刊行会

平成12年(2000) 田原パシフィックロータリークラブ

平成18年(2006) 財団法人崋山会

平成22年(2010) 財団法人崋山会

昭和2年(1927) 松林桂月 中央美術社 白井烟嵩
旧蔵図書 185

昭和8年(1933) 塔影社

昭和11年(1936) 松林桂月編 白井烟嵩旧蔵図書280

昭和8年(1933) 塔影社

昭和10年(1935) 塔影社

昭和10年(1935) 塔影社

昭和11年(1936) 塔影社

昭和27年(1952) 松林桂月編 桂月会 白井烟嵩
旧蔵図書23

昭和33年(1958) 日本美術新報社

昭和40年(1965) 天香社

平成2年(1990)7月号 三彩社

平成2年(1990)9月号 三彩社

平成2年(1990)10月号 三彩社

平成2年(1990)11月号 三彩社

平成2年(1990)12月号 三彩社

平成2年(1990) 松林清風 三彩社

平成6年(1992) 朝日新聞社

平成9年(1997) 松林清風編 二玄社

明治40年(1907) 伊藤鳳山著・千原正武編 水交社

昭和4年(1929) 阿部正巳著 伊藤鳳山伝記刊行会

昭和53年(1978)～56年(1981) 佐藤一斎著・川上正光
全訳注 講談社

昭和54年(1979) 森谷尅久著 平凡社

平成12年(2000) 大分県立先哲資料館編

大分県教育委員会

平成13年(2001) 朝日新聞社



大分県先哲叢書大蔵永常
大分県先哲叢書大蔵永常 [普及版]

小説佐藤一斎

平成26年2月22日(土)～平成26年3月30日(日)

南画集

崑山の弟子半香・顕斎・茜山

夭折の南画家

平井顕斎展

江戸の閨秀画家

渡辺崑山と弟子たち

福田半香展

渡辺崑山と永村茜山

平成14年(2002) 豊田寛三他著 大分県立先哲資料館

平成16年(2004) 小泊立矢著・鈴木忠実絵 大分県立先哲資料館編・大分県日田市

平成18年(2006) 童門冬二 致知出版社

明治43年(1909) 國華社

昭和55年(1980) 常葉美術館

平成3年(1991) 佐野美術館

平成3年(1991) 静岡県立美術館

平成3年(1991) 板橋区立美術館

平成16年(2004) 田原市博物館

平成18年(2006) 田原市博物館

平成20年(2008) 島田市博物館

二ノ丸櫓

吉胡貝塚出土品

渥美古窯 記号入山茶碗 陶片

山崎遺跡

副葬された須恵器

田原藩士使用具足

空中写真

貝塚断面

■渥美郷土資料館

エントランスホール

◎寄贈絵画展示

平成25年4月2日～平成25年10月4日

・浅田蘇泉 「月下の舞」

・大岡澄雄 「池畔」

・川口四郎 「万座毛」

平成25年10月5日～平成26年1月16日

・浅田蘇泉 「舟溜り」

・杉浦正美 「なす畑の母子」 平成11年(1999)

・杉浦正美 「渥美の菜畑」 平成18年(2006)

常設展示室

◎埋蔵文化財室

縄文時代の保美貝塚、伊川津遺跡(貝塚)から出土した考古資料をはじめ、弥生、古墳時代の各種資料や奈良東大寺の鎌倉再建時の瓦などに代表される渥美古窯製品を展示

・伊川津貝塚、保美貝塚出土品、伊川津貝塚貝層断面、又状研歯のある頭骨(レプリカ)、有髯土偶(レ



ブリカ)、椀の銅鐸、藤原古墳出土品（金銅装大刀、耳環、須恵器など）、製塩土器、渥美古窯製品（山茶碗、小皿、陶錘、陶製五輪塔、宝塔、東大寺瓦など）

◎郷土文化財室

江戸時代から明治・大正・昭和、そして現在にいたるまでのまちの歴史をテーマとして、古文書や村絵図など、さまざまな資料を展示

- ・袴（大垣新田藩）、高札（切支丹禁制）、村絵図、糟谷磯丸関係資料、永久丸関係資料（漂民間書、ジャックナイフほか）、戦争関係資料（日清・日露・太平洋戦争含む）、宮川春汀錦絵、柳田國男ハガキ、国民歌謡「椰子の実」楽譜、明治から昭和初期の教科書、鈴木翠軒関係資料、渥美町誕生（合併申請書、町章応募ハガキほか）、戦後のまちの発展を示す写真パネルなど

◎民俗文化財室

大正から昭和初期までの“くらし”に焦点をあて、農具・漁具・生活用具を展示

- ・コメ作りの道具（牛耕用の鋤、牛の鞍、田舟、足踏水車、足踏脱穀機、唐箕ほか）、渥美地域を代表する民家の復元（台所用具、ダイガラ、箱膳、箆笥、行灯、ランプほか）、船上道具、櫓、イカリ、魚網、魚桝、マンガ、ワカメかき、海苔生産用具など

◎企画展示室

さまざまな企画展を開催。また、貸しギャラリーとしても利用。

貸しギャラリー

- ・平成25年6月9日～平成25年6月23日
第23回渥美写真愛好会写真展
- ・平成25年8月13日～平成25年8月17日
第25回福江高校OB美術展
- ・平成25年9月23日～平成25年9月29日
第12回渥美なのはな絵画クラブ 水彩画展



1 講座

(1) 博物館・資料館講座

講座「渡辺崋山を知るために」	毎月11日	
4月 渡辺崋山の生活－その10	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
5月 「渡辺崋山と山本栞谷」展時解説	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
6月 渡辺崋山の生活－その11	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
7月 渡辺崋山の生活その12	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
8月 博物館平常展展示解説	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
9月 渡辺崋山の生活－その13	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
11月 渡辺崋山の生活－その14	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
12月 渡辺崋山の生活－その15	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
1月 渡辺崋山の生活－その16	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
2月 渡辺崋山の生活－その17	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
3月 渡辺崋山の生活－その18	講師 田原市博物館副館長	鈴木利昌
博物館春の企画展ギャラリートーク「川口四郎、入江窈・光太郎展」		4月27日(土)
講師 田原市博物館学芸員 天野敏規		
「鎧を着てみよう」		5月5日(日)
渥美郷土資料館春の企画展ギャラリートーク「川口四郎、入江窈・光太郎展」		5月18日(土)
田原城跡月見会		9月19日(木)
企画展展示解説		9月22日(日)
講師 田原市博物館副館長 鈴木利昌		
企画展展示解説		10月6日(日)
講師 田原市博物館副館長 鈴木利昌		
企画展記念講演会「近世の花鳥画をさぐる～写生という視点から」		10月11日(金)
講師 秋田県立近代美術館長 河野元昭		
特別展展示解説		10月19日(土)
講師 田原市教育委員会学芸員 増山禎之		
特別展展示解説		10月20日(日)
講師 田原市教育委員会学芸員 増山禎之		
特別展見学ツアー「渥美窯のふるさとを巡る」		11月3日(日)
講師 田原市教育委員会学芸員 増山禎之		
渥美郷土資料館秋の企画展		
「第28回風景の会絵画展－渥美半島に行く」ギャラリートーク		11月4日(月)・(祝)
講師 風景の会同人・春陽会会員平井誠一、田原市博物館学芸員 天野敏規		
特別展記念講演会「日本の美の源流－国宝秋草文壺の魅力に迫る」		11月10日(日)
講師 学習院大学教授 荒川正明		
特別展座談会		11月10日(日)
講師 学習院大学教授 荒川正明ほか		
博物館企画展ギャラリートーク		12月8日(日)
講師 大阪国際大学国際コミュニケーション学部専任講師 村田隆志		
聞き取りから知る三河田原駅90年史中間報告会		12月8日(日)
講師 愛知大学地域政策学部学生ほか		
博物館企画展展示解説		12月15日(日)
講師 田原市博物館副館長 鈴木利昌		



博物館企画展展示解説	12月15日(日)
講師 田原市博物館副館長 鈴木利昌	
企画展記念講演会「素顔の松林桂月」	12月23日(月)
講師 松林明	
博物館企画展展示解説	1月12日(日)
講師 田原市博物館副館長 鈴木利昌	
嚶鳴教育フォーラム in 田原	2月14日(金)・15日(土)
講師 吉田公平・童門冬二	
渥美郷土資料館企画展付帯事業「着物から作る洋服ファッションショー」	
講師 田中志のぶ	
(2) 吉胡貝塚資料館自主講座	
縄文コースターづくり	6月9日(日)
本格派貝のアクセサリー	6月22日(土)
縄文染め	8月25日(日)
ドングリでクッキーをつくろう	11月24日(日)
つる編みのかご作り	12月8日(日)
ドングリで手ぬぐいを2色に染めよう	12月15日(日)
貝を使っておひなさまをつくろう	1月26日(日)
土器を使って料理を作ろう	3月30日(日)
(3) 講師派遣	
福江高等学校総合的な学習の時間の講演会「郷土の歴史について」	4月15日(月)
学芸員 天野敏規	
福江小学校修学旅行事前学習	4月25日(木)
学芸員 天野敏規	
まつぼっくりの会「江比間村・永久丸の漂流と『漂流聞書』について」	5月11日(土)
学芸員 天野敏規	
衣笠小学校6年生「栄巖古墳の学習」	5月13日(月)
学芸員 増山禎之	
渥美商工会「貝づくし渥美」	5月22日(水)
学芸員 増山禎之	
福江小学校3年生「福江の町の様子」	6月4日(火)
学芸員 天野敏規	
南部小学校6年生総合学習	6月24日(月)
学芸員 増山禎之	
衣笠小学校6年生総合学習	6月25日(火)
学芸員 増山禎之	
崙山会出張講座 愛知県立渥美農業高等学校「崙山のまちの図書館」	6月27日(木)
嘱託員 森下芳則	
福江中学校1年生校外学習(渥美郷土資料館)	7月5日(金)
学芸員 天野敏規	
大草の歴史と文化を学ぶ会 福江校区文化財(名所・旧跡)めぐり	7月20日(土)
学芸員 天野敏規	
福江小学校現職教育「ふるさとの偉人-宮川春汀」	7月25日(木)
学芸員 天野敏規	



伊良湖小学校現職教育「糟谷磯丸」 学芸員 天野敏規	7月29日(月)
市政ほーもん講座「田原を走る渥美線と渥美に残る「まぼろしの渥美線」」 主任 木村洋介	8月6日(火)
観光ボランティアガイド育成セミナー 学芸員 天野敏規	8月20日(火)
赤羽根小学校3年生社会見学(渥美郷土資料館) 学芸員 天野敏規	10月22日(火)
田原南部小学校6年生社会科「戦国時代を生きた戸田氏」 学芸員 天野敏規	10月25日(金)
田原福祉専門学校 1学年後期 田原学 副館長(学芸員) 鈴木利昌	7月25日～平成26年2月4日
豊橋市松葉校区自治会見学(渥美郷土資料館) 学芸員 天野敏規	11月14日(木)
福江校区親子歴史探検会 学芸員 天野敏規	12月15日(日)
衣笠小学校3年生「昔の道具」(田原市民俗資料館) 学芸員 天野敏規	平成26年1月15日(水)
赤西老人会「ふるさとの偉人を訪ねて」 学芸員 増山禎之	1月17日(金)
泉小学校3年生「昔の道具」(渥美郷土資料館) 学芸員 天野敏規	1月21日(火)
福江小学校3年社会科「かわってきた人々のくらし」 学芸員 天野敏規	1月23日(木)
亀山小学校3年生「昔の道具」(渥美郷土資料館) 学芸員 天野敏規	1月28日(火)
若戸小学校3年生「昔の道具」(田原市民俗資料館) 学芸員 天野敏規	1月30日(木)
大草小学校3年生「昔の道具」(田原市民俗資料館)「田原市博物館見学」 学芸員 天野敏規	2月5日(水)
高松小学校3年生「昔の道具」(田原市民俗資料館) 学芸員 天野敏規	3月6日(木)
田原東部小学校3年生「昔の道具」(田原市民俗資料館) 学芸員 天野敏規	3月12日(水)

2 印刷、出版

■田原市博物館

- (1) 春の企画展「田原の美術～川口四郎、入江竊・光太郎展」
ハガキ 4,000枚
- (2) 企画展・特別展チラシA 4版 2,000枚
- (3) 企画展「渡辺華山・椿椿山が描く花・鳥・動物の美」
ポスターB 2版 900枚
チラシA 4版 20,000枚



	A 4 版図録	1,000部
	チケット	7,000枚
(4)	特別展「渥美窯 国宝を生んだその美と技」	
	ポスターB 2 版	1,000枚
	チラシA 4 版	39,000枚
	チケット	7,000枚
	A 4 版図録	1,500部
(5)	渥美郷土資料館秋の企画展「第28回風景の会絵画展」	
	ポスターB 2 版	10枚
	ポスターB 3 版	650枚
	ハガキ	14,000枚
	A 4 変形版図録	160部
(6)	企画展「没後50年 松林桂月展－水墨画を極め、画中に詠う」	
	ポスターB 2 版	1,000枚
	チラシA 4 版	35,000枚
	チケット	7,000枚
	A 4 版図録	450部
(7)	渥美郷土資料館企画展「第28回ひな祭り展」	
	ポスターB 3 版	500枚
	チラシA 4 版	18,000枚
	A 4 版パンフレット	1,000部
(8)	展示案内カード後期 名刺版（四つ折）	26,000枚
	展示案内カード前期 名刺版（四つ折）	26,000枚
(9)	田原市博物館年報 第20号（平成24年度）	
	A 4 版（108P）	600部
(10)	『田原の文化』第39号	
	A 4 版 70P	600部
	金五郎文書－歳代覚書－原本を探索（藤井忠）	
	明治四年畠村『萬附留日記』における下半期の布告等について（葉山茂生）	
	『明治四年同五年御布告之写』（畠村）（葉山茂生）	
	田原市若見町のおくりょうさま（伊藤博文）	
(11)	渥美郷土資料館リーフレット	1,000枚
(12)	博物館だより 第54号 無料配布	
(13)	26年春の企画展「田原の美術～森緑翠とその仲間たち」	
	ポスターB 3 版	500枚
	ハガキ	4,800枚
(14)	絵はがき 1 種	600枚、6 種各300枚



3 その他

(1) 館外貸出（貸出先、展覧会名、出品期間、資料点数等）

■田原市博物館

糟谷磯丸顕彰会

平成25年3月21日(木)～平成26年12月3日(水)

糟谷磯丸解説パネル1枚

田原市図書館

平成25年4月1日(月)～平成26年3月31日(月)

鶏の水のみ1個・電気あんか1個・蚊取りブタ（かやり）1個・薬箱（薬入り）1箱・蚊帳と保管箱1式・炭火アイロン1台・たばこ盆1個・キセル入れ1個・二眼レフカメラ1台・テープレコーダー1台・ラジオ1台・一升杓1個・わらびつ1個・電気炊飯器1台・電子ジャー1台・エアポット（魔法瓶）1台・重ね重箱（茶碗）1式・水筒1個・手廻計算機1台・そろばん（五珠）1個・ホーロー看板1枚

田原市立泉小学校

平成25年6月14日(金)～6月26日(水)

製塩土器（復元）1点・製塩土器脚部1点・一斗ます1点

サントリー美術館「生誕250周年谷文晁展」

平成25年7月3日(水)～8月25日(日)

谷文晁筆・柴野栗山賛千山万水図1幅・谷文晁筆画学斎図藁1冊・谷文晁筆秋山孤亭図1幅・谷文晁筆驟雨帰漁図1幅・谷文晁筆李白観瀑図1幅

山口県立美術館「没後50年松林桂月展」

平成25年8月8日(土)～9月16日(月)

野口幽谷筆双雁図屏風二曲一双・野口幽谷筆竹林群雀3幅・野口幽谷筆溪上水仙花1幅・野口幽谷筆花卉冊1冊・椿二山筆野口幽谷之像画稿1面・松林雪貞筆藤花1幅・松林桂月筆幽山孤村六曲一双・松林桂月筆四季山水4幅

田原市図書館

平成25年9月20日(金)～10月5日(土)

ちょっと昔の携帯電話1台・カメラ1台・ファミリーコンピューター1台・ファミコンのROMカセット1個・トースター1台・ランドセル1個・ねずみ取り1台・時計1個・はえとり器1個・殺虫剤噴霧器1台・オリエンタルカレーの瓶1個・たらい1個・せんたく板1枚・おひつ夏用1個・蚊取り線香台1個

鈴鹿市考古博物館 特別展「伊勢湾を巡る交流」

平成25年6月14日(金)～6月26日(水)

製塩土器片一括・藤原1号墳須恵器 脚付短頸壺5点・同須恵器 平瓶2点・同須恵器無蓋高杯1点・同須恵器 杯蓋1点・同須恵器 杯身1点・八幡上遺跡製塩土器1点・岬1号遺跡製塩土器1点

一宮市博物館 平成25年度特別展「縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代」

平成25年10月12日(土)～11月17日(日)



伊川津貝塚出土品 一式

福井県立歴史博物館平成25年度企画展「染付 ～戦国大名が愛した魅惑のうつわ～」

平成25年10月19日(土)～12月1日(日)

田原城出土 元代染付 一式

田原市消防本部「出初式」

平成25年12月13日(金)～平成26年1月18日(土)

纏 2本

豊橋市文化財センター 平成25年度企画展示「歴史の中の馬」

平成26年1月6日(日)～2月14日(金)

山崎遺跡出土 鐙・鞍 2点

栄巖古墳出土 鉄製馬形 1点

やしの実博物館 常設展

平成25年4月1日(月)～平成26年3月31日(月)

土師高坏(古墳時代) 1点・土師壺 1点・土師つまみ付坏 1組・木製楯 1点・箱板 1点・下駄 1点・中甕 1点・万字小壺 1点・万字壺 1点・小形片口鉢 1点

■田原市渥美郷土資料館

海の博物館特別展

平成25年9月14日(土)～平成26年3月31日(月)

宮下丸大漁旗 1枚・日出丸大漁旗写真データ(パネル掲載のみ)

田原市図書館

平成25年9月20日(金)～10月5日(土)

レコード盤 1枚・ポータブルレコードプレーヤー 1台・ワードプロセッサ 1台・うちわ立てと
うちわ・カキ氷機 1台・ビール箱 1箱・扇風機 1台

小久保ふとん店

平成25年12月16日(月)～平成26年1月31日(金)

綿繰り機 1台

みよし市立歴史民俗資料館冬季企画展「第32回ひな人形展」

平成26年1月25日(土)～3月23日(日)

「天神飾り」昭和後期 1式

田原まつり会館 常設展

平成25年4月1日(月)～平成26年3月31日(月)

「初風(熊金)」 1点

やしの実博物館 常設展

平成25年4月1日(月)～平成26年3月31日(月)



伊川津8号人骨一式・縄文土器（深鉢型）1点・合口土器棺2点・弥生土器1点・敲石1点・凹石1点・石鏃7点・尖頭器（刺突具）3点・骨針2点・石冠1点・根ばさみ2点・垂飾2点・牙錐（骨錐）2点・骨鏃2点・貝輪（イタボガキ）1点・貝輪（アカニシ）1点・石錘3点・石斧2点・石棒1点・磨製石斧1点・遠賀川式土器1点・提瓶1点・小壺1点・山茶碗3点・小皿5点・陶錘3点・軒丸瓦片1点（市指定文化財）・軒平瓦片2点（市指定文化財）・平瓦片1点（市指定文化財）・丸瓦（「東」刻印）1点（市指定文化財）・製塩土器（レプリカ）2点・製塩土器脚部12点・高坏（土師器）1点・壺（土師器）1点・坏身（土師器）2点・鍬1点・箱板1点・下駄1点・中甕1点・万字小壺1点・小形片口鉢1点

国立歴史民俗博物館 常設展

平成25年4月1日(月)～平成26年3月31日(月)

カモ5点・シカ5点・イノシシ5点・アナグマ2点・サル3点・タヌキ2点・イルカ1点・クジラ1点・イヌ3点・ウミガメ2点・ウナギ3点・イワシ3点・マダイ3点・クロダイ3点・スズキ3点・エイ3点・フグ2点・ヘダイ2点・ミルクイ1点・ウチムラサキガイ1点・イボニシ1点・イタボガキ1点・アサリ1点・マガキ1点・スガイ1点・アカニシ1点・ダンベイキサゴ1点・ハマグリ2点

■田原市博物館ロビー展示

平成25年7月13日(土)～9月8日(日)

・山口秀太郎「KOKORONE」「内なるKOKORONE」

■田原市役所庁舎展示

平成25年4月1日(月)～平成26年3月31日(月)

仲谷孝夫筆「赤い服」・仲谷孝夫筆「ひまわり」・渡会伊良子筆「白樺林」・我妻碧宇筆「深海魚」・大谷伸爾筆「普賢菩薩」

■田原文化会館展示

平成25年7月13日(土)～9月8日(日)

・渡辺華山筆「黄雀窺蜘蛛図」(複製)

・渡辺華山筆「翡翠扇面」(複製)

9月10日(火)～11月20日(水)

・鐺木雲潭筆「嚶鳴之図」

11月21日(木)～平成26年1月21日(火)

・松林桂月筆「山水図屏風」「渡辺華山銅像題字」「深林鳥声図(複製)」

1月22日(水)～3月31日(月)

・三河田原駅・渥美線と田原のまちの90年

■赤羽根文化会館展示

平成25年4月1日(月)～平成25年10月14日(月)

・白井青淵「上海所見」 昭和59(1984)年

・白井青淵「木曾路」 昭和60(1985)年

平成25年10月16日(水)～平成26年3月31日(月)

・白井青淵「松径」 昭和52(1977)年

・白井青淵「成都」 昭和62(1987)年



- (2) 無料開放
平成25年10月11日 華山祭 142人
毎週土曜日 小・中・高生無料開放 72人
ほの国こどもパスポート 78人
- (3) 博物館実習
大学から博物館実習受け入れの要望があり、実施した。
期間 平成25年7月30日(火)～8月4日(日) 5日間
受け入れ実習生の内訳 愛知産業大学 1名
- (4) 職場体験
11月5日(火)～9日(土) 田原市立田原中学校2年生 3名
- (5) 編集協力
『華山会報』第30号 平成25年4月11日発行
『華山会報』第31号 平成25年11月1日発行
『渡辺華山史跡めぐりマップ』編集
広報たはら「たはら歴史探訪クラブ」毎月15日号執筆
田原中部小学校『家庭と学校』執筆

- (6) 大学関連
田原市・愛知大学連携事業
(成果品) 愛知大学地域政策学センター発行「聞き取りから知る三河田原駅九〇年史」



収集活動

平成25年度に収集した資料は次のとおりである。

購入資料

No.	資料名	作・編者等	形態	数量	取得先
1	養氣二行	三宅友信	掛幅	1	購入
2	蓬窓一行	三宅友信	掛幅	1	購入
3	愛知県渥美郡田原町土地宝典	田原町	冊子	1	購入
4	海鶴蟠桃園	野口幽谷	掛幅	1	購入
5	亀図扇面	椿華谷	まくり	1	購入
6	鯉	渡辺華石	掛幅	1	購入
7	絵葉書渥美の勝景		袋入り	1	購入
8	絵葉書角上旅館		袋入り	1	購入
9	三州奥郡産育風俗図絵		冊子	1	購入
10	短冊「わけいりて」	糟谷磯丸	短冊	1	購入
11	水墨牡丹図	渡辺小華	掛幅	1	購入
12	波濤図屏風	渡辺小華	二曲一隻	1	購入

寄贈資料

No.	資料名	作・編者等	形態	数量	取得先	寄贈者
13	異国土偶	森緑翠	額	1	寄贈	鈴木敬一
14	ほおずき	森緑翠	額	1	寄贈	鈴木敬一
15	青梅	森緑翠	額	1	寄贈	鈴木敬一
16	枇杷	森緑翠	額	1	寄贈	鈴木敬一
17	唐女子俑	森緑翠	額	1	寄贈	鈴木敬一
18	人参	森緑翠	額	1	寄贈	鈴木敬一
19	佐渡・鬼太鼓頌	大森運夫	額	1	寄贈	鈴木敬一
20	シルクロード（キャラバン）	道家珍彦	額	1	寄贈	鈴木敬一
21	丸山薫自筆歌詞、楽譜入「福江小学校歌額」	丸山薫	額	1	寄贈	福江小学校
22	茶店問答		冊子	1	寄贈	林哲志
23	比留輪山論争（写本）		冊子	1	寄贈	林哲志
24	京都静坐社資料		図書	10	寄贈	小林厚子
25	日除歌雨あられ…	糟谷磯丸	掛幅	1	寄贈	杉原清之助
26	日の出松木版画		まくり	1	寄贈	井上忠夫
27	当世風俗通茶乃湯	宮川春汀		1	寄贈	河合家（芦町）
28	山水図	福田半香	掛幅	1	寄贈	黒田栄子
29	富貴長春之図	大河戸晩翠	掛幅	1	寄贈	黒田栄子
30	わきざし	備前長船祐定	刀	1	寄贈	尾崎茂
31	わきざし	備前住忠吉	刀	1	寄贈	尾崎茂
32	刀	無銘	刀	1	寄贈	尾崎茂



No.	資料名	作・編者等	形態	数量	取得先	寄贈者
33	渡辺崋山真景・写生帖集成		図書	3	寄贈	西川統一郎
34	鳳舞龍翔ほか	寺原聖山	屏風ほか	12	寄贈	八木紀全
35	尾張屋	加藤正	額	2	寄贈	八木紀全
36	鄭老画蘭之詩扇面（複製）		扇面	1	寄贈	八木紀全

民俗資料

No.	資料名	作・編者等	形態	数量	取得先	寄贈者
37	土人形（傘持ち娘）			1	寄贈	川島ひさの
38	土人形（扇持ち娘）			1	寄贈	川島ひさの
39	段飾りひな人形（七段）			1	寄贈	馬場富夫
40	段飾りひな人形（七段）			1	寄贈	岡田まさえ
41	ケース入り三月人形（七笠）			1	寄贈	岡田まさえ
42	ケース入り三月人形（道成寺）			1	寄贈	岡田まさえ
43	ケース入り五月人形（暫）			1	寄贈	岡田まさえ
44	ケース入り五月人形（祝太刀）			1	寄贈	岡田まさえ
45	アルス超スピード編物機			1	寄贈	佐野三策
46	段飾りひな人形（七段）			1	寄贈	大和具雄
47	市松人形			1	寄贈	大和貞雄
48	木目込ひな人形）			1	寄贈	河合伸治
49	京雛			1	寄贈	河合伸治
50	市松人形			1	寄贈	河合伸治
51	ケース入り人形（吉徳大光）			1	寄贈	河合伸治
52	ケース入り人形（春駒）			1	寄贈	河合伸治
53	ケース入り人形（舞踊）			1	寄贈	河合伸治
54	天神人形			1	寄贈	河合伸治
55	土人形（天神）			1	寄贈	河合伸治
56	土人形（天神）			1	寄贈	河合伸治
57	段飾りひな人形（三段）			1	寄贈	河合浩朗
58	ケース入り人形（市松人形）			1	寄贈	河合浩朗
59	ケース入り人形（天神様）			1	寄贈	河合浩朗
60	ケース入り人形（兜差）			1	寄贈	河合浩朗
61	五月人形（三段）			1	寄贈	河合浩朗
62	段飾りひな人形（七段）			1	寄贈	中村和則
63	段飾りひな人形（七段）			1	寄贈	菅沼卓郎
64	ケース入り三月人形（道成寺）			1	寄贈	菅沼車郎
65	ケース入り三月人形（三番盟）			1	寄贈	菅沼車郎



No.	資料名	作・編者等	形態	数量	取得先	寄贈者
66	ケース入り三月人形（七笠）			1	寄贈	菅沼車郎
67	ケース入りひな人形（木目込み立雛）			1	寄贈	菅沼車郎
68	ケース入り人形（雪やこんこん）			1	寄贈	菅沼車郎
69	ケース入り人形（手まり唄）			1	寄贈	菅沼車郎
70	ケース入り五月人形（矢の根）			1	寄贈	菅沼卓郎
71	ケース入り五月人形（重藤）			1	寄贈	菅沼卓郎
72	木目込み人形（弁慶）			1	寄贈	菅沼車郎
73	段飾りひな人形（七段）			1	寄贈	鈴木真喜次
74	織			1	寄贈	八木紀全
75	棒			1	寄贈	八木紀全
76	鰻絵（鍾馗）			1	寄贈	八木紀全
77	看板			3	寄贈	八木紀全
78	写真			7	寄贈	八木紀全
79	瓦	長嶋重左衛門		6	寄贈	八木紀全

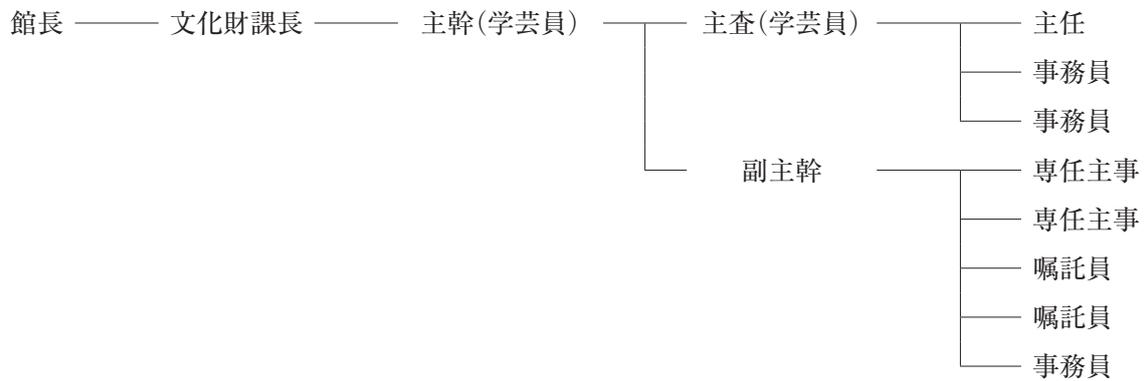


4 野口幽谷 海鶴蟠桃園



19 大森運夫 佐渡・鬼太鼓頌

1 機構



2 博物館職員

■田原市博物館

職名	氏名
館長(教育長)	嶋津隆文
課長(文化財課長)	河辺勝郎
主幹(学芸員・社会教育主事)	鈴木利昌
副主幹	鈴木敏恭
主査(学芸員)	天野敏規
主任	木村洋介
専任主事	太田健
専任主事	永田雄次
事務員	金田奈津子
事務員	山下なつみ
事務員	渡邊充子
嘱託員	山田政俊
嘱託員	森下芳則

■文化財グループ

職名	氏名
副主幹	増山禎之
主査	内藤泰子
主任	小川章一



3 田原市博物館協議会委員名簿

氏 名		選出分野	備 考
会 長	横 田 克 彦	学識経験	博物館友の会会長
副会長	村 田 眞 宏	学識経験	愛知県美術館館長
	中 尾 利 之	学校教育	赤羽根小学校長
	乾 欽 也	学校教育	渥美農業高等学校教諭
	山 本 達 夫	社会教育	市文化協会会長
	柴 田 ひ ろ 子	学識経験	民生児童委員、元保育士

4 博物館運営・管理費（平成25年度決算、単位：円）

報 酬	114,000
賃 金	7,182,402
報償費	500,850
旅 費	1,509,350
需用費	23,400,801
役務費	3,001,968
委託料	24,530,254
使用料及び賃借料	545,030
工事請負費	1,664,040
備品購入費	1,486,025
負担金補助及び交付金	8,422,770
公課費	20,000
<hr/>	
合 計	72,377,490

※給料等の人件費は除く。



田原市博物館



田原市渥美郷土資料館

平成25年度田原市博物館友の会事業実績

月	行 事	内 容	参加者等 友の会会員
4/11(木)	講座「渡辺崋山を知るために」	渡辺崋山の生活10 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般13人
4/18(木)	友の会総会	24年度報告、25年度行事・予算	会員18人
4/27(土)	春の企画展ギャラリートーク (田原市博物館)	春の企画展「川口四郎・入江竊・光太郎展」 講師 学芸員 天野敏規	会員・一般10人
5/5(日)	鎧を着てみよう	こどもの日企画	友の会ボランティア 3人、小14・大7人
5/8(水)	友の会役員会	見学会・月見会計画等	役員7人
5/11(土)	講座「渡辺崋山を知るために」	崋山・榑谷の作品を見る 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般27人
5/18(土)	春の企画展ギャラリートーク (渥美郷土資料館)	春の企画展「川口四郎・入江竊・光太郎展」 講師 学芸員 天野敏規	会員・一般5人
5/19(日)	友の会见学会(日帰り)	市内めぐり(テーマ:文化財関連施設めぐり) 講師 学芸員 天野敏規	会員⇒中止
6/11(火)	講座「渡辺崋山を知るために」	渡辺崋山の生活11 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般15人
7/11(木)	講座「渡辺崋山を知るために」	渡辺崋山の生活12 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般32人
8/11(土)	講座「渡辺崋山を知るために」	平常展展示解説 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般26人
8/23(金)	友の会役員会	月見会、見学会協議等	役員7人、茶会(朝倉先生)1人、アトラクション(桜三昧)1人
9/11(水)	講座「渡辺崋山を知るために」	渡辺崋山の生活13 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般34人
9/19(木)	田原城跡・月見会	茶席・句会等 アトラクション(三味線演奏:桜三昧)	会員・一般333人 230枚(茶券販売数)
9/22(日)	企画展展示解説	企画展「渡辺崋山・榑椿山が描く 花・鳥・動物の美」講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般24人
10/6(日)	企画展展示解説	企画展「渡辺崋山・榑椿山が描く 花・鳥・動物の美」講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般38人
10/11(金)	企画展講演会	演題「近世の花鳥画をさぐる～写生という視点から」講師 秋田県立近代美術館長 河野元昭	会員・一般51人
10/19(土)	特別展開会式	特別展「渥美窯 国宝を生んだその美と技」	役員、招待・来賓 20人
10/19(土)	特別展展示解説	特別展「渥美窯 国宝を生んだその美と技」 講師 学芸員 増山禎之	会員・一般35人
10/20(日)	特別展展示解説	特別展「渥美窯 国宝を生んだその美と技」 講師 学芸員 増山禎之	会員・一般38人
11/2(土)	考古学シンポジウム	テーマ「渥美窯編年の再構築」	会員・一般85人



月	行 事	内 容	参加者等 友の会会員
11/3(日)	特別展見学ツアー	「渥美窯のふるさとを巡る」 講師 学芸員 増山禎之	会員・一般29人
11/4(月)	渥美郷土資料館 企画展ギャラリートーク	企画展「風景の会絵画展－渥美半島に行く」 講師 風景の会同人・春陽会員 平井誠一、学 芸員 天野敏規	会員・一般43人
11/10(日)	特別展記念講演会	演題「日本の美の源流－国宝秋草文壺の魅 力に迫る」講師 学習院大学教授 荒川正明	会員・一般57人
11/10(日)	特別展座談会	講師 学習院大学教授 荒川正明ほか	会員・一般30人
11/11(月)	講座「渡辺崋山を知るために」	渡辺崋山の生活14 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般21人
11/15(木)	友の会見学会（日帰り）	特別展、豊橋市二川宿本陣資料館、豊橋市 自然史博物館見学	会員30人
12/8(日)	企画展ギャラリートーク	企画展「没後50年 松林桂月展」 講師 大阪国際大学国際コミュニケーション 学部専任講師 村田隆志	会員・一般44人
12/8(日)	聞き取りから知る三河田原駅 90年史中間報告会	報告会 愛知大学地域政策学部学生ほか	会員・一般38人
12/11(火)	講座「渡辺崋山を知るために」	渡辺崋山の生活15 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般35人
12/15(日)	企画展展示解説	企画展「没後50年 松林桂月展」 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般22人
12/23(月)	企画展記念講演会	演題「素顔の松林桂月」 講師 松林明（桂月の孫）	会員・一般15人
1/11(金)	講座「渡辺崋山を知るために」	渡辺崋山の生活16 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般18人
1/12(日)	企画展展示解説	企画展「没後50年 松林桂月展」 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般24人
1/22(水)	友の会役員会	平成26年度事業計画・協議等	役員8人
2/11(火)	講座「渡辺崋山を知るために」	渡辺崋山の生活17 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般13人
2/14(金) ～ 2/15(土)	嚶鳴教育フォーラム in 田原	担当者会、教育長会議、交流会 講演会、崋山劇	嚶鳴協議会加盟市 町・会員・役員約 300人
3/1(土)	渥美郷土資料館 企画展付帯事業	着物から作る洋服ファッションショー 講師 田中志のぶ	会員・一般63人 （ショー参加者） 観覧者約200人
3/11(火)	講座「渡辺崋山を知るために」	渡辺崋山の生活18 講師 副館長 鈴木利昌	会員・一般25人
3/18(火)	友の会役員会	総会、見学会計画等協議	役員5人

※展示案内カレンダー送付（年2回）

※博物館だより送付（年1回）

※崋山会報送付（年2回）等

1. 博物館の課題

(1) 入館者数の減少

博物館の入館者数（下表）は、ここ数年、減少傾向に歯止めがかからない状況です。企画展のテーマも限定されており、カジュアル、ポピュラーなものまで幅広い設定には至っていないため、集客力のアップが大きな問題となっています。

<博物館の入館者数>

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
18,866人	18,661人	15,492人	15,716人	13,346人

開かれた博物館としてみれば、新たな客層を開拓し、気軽に立ち寄ることができる企画展や、来館者数が見込める企画を広いテーマで展開する必要があります。しかし現実には、美術資料（華山関係資料・郷土美術作家）中心の美術系に偏っている状況で、子どもから高齢者までの幅広い年齢層に対応した企画が不足しています。一方で、田原市全体を見渡せる通史の常設展示も行われていません。

田原市博物館は企画展を年間3～4回、平常展を年間4～5回、渥美郷土資料館は企画展を年間2～3回開催しています。現状では事業展開を学芸員2人で担当し、企画展の担当割合は年3回以上ともなり、専任・一極化と同時に企画偏重化のリスクも持ち合わせています。

(2) 広報・広聴の不足状況

広報面では、広報たはらやホームページ、ポスター・チラシ・ハガキ等のほか、新聞広告、折込チラシ等を活用しています。しかし依然としてPR不足の感が否めません。また利用者の声として、市民、外来者等の意見をアンケートで一部の声として把握しています。しかし博物館事業運営に反映するまでには至っていません。

(3) 他団体等との連携不足

事業運営を効率的、広域的に進めていくために必要な各分野・団体との連携体制が確立されていない状況です。田原市役所内部（図書館、生涯学習課、広報秘書課、商工観光課ほか）はもとより、近隣の豊橋市、豊川市、新城市、蒲郡市、浜松市等の博物館や美術館との連携が不足しています。民間施設や観光施設、華山会、糟谷磯丸顕彰会など関係団体とのネットワーク形成も十分に確立されているとはいえません。

(4) 教育普及活動の不足

歴史学習などの教育普及活動については、以前からリクエストに応じた講座等を行ってきたところです。しかし新たな魅力ある講座・教室（高齢者や女性、子ども向け）や体験学習、まんが活用の歴史ガイド等の教材などが不足している状況にあります。

また、小中学校対応のための、ふるさと学習（総合学習）支援体制、貸出キット（体験キット等）の整備や、移動手段としてのパス等の確保、普及員としての人材確保も課題となっています。

(5) 施設機能の課題

① 施設の棲み分けの課題

現在、教育委員会が所管・活用する田原市の施設は以下のように6館あります。しかし、はっきりとした機能分担や棲み分けがなされないまま今日に至っています。



- 田原市博物館は、常設展示として崑山に特化した展示を行っています。開館当初から企画展も崑山中心にスタートし、現在も崑山博物館としての固定観念が持たれています。

平成2年に策定された「博物館基本設計」の将来構想では、考古・民俗を含む歴史系博物館として通史展示も想定され、またその後、高需要の美術館ギャラリー機能ももたせるよう提言されましたが、それらの構想は十分には実現していません。

- 渥美郷土資料館は、常設展示が旧渥美町域の展示のままであり、貸ギャラリー機能はあるものの、開館時から特に変わっていません。
- 民俗資料館は、旧田原町域を中心とした民俗資料を展示しています。現在、施設の見直しと利用者への影響を計るため、試行的に特定期間の臨時休館を行っています。
- 吉胡貝塚資料館は貝塚史跡公園の中にある最も新しい施設で、縄文時代の吉胡貝塚に特化し、展示室と体験学習室を活用した運営を行っています。そのためか内外の評価は高く、昨今入館者数は増加傾向にあります。
- 皿焼古窯館は渥美運動公園敷地内にあり、皿焼12号窯保存施設として開設され、平常は必要時の公開展示を行っている状況です。
- 赤羽根文化会館は、展示室で考古資料と寄贈美術資料の展示を行っています。



吉胡貝塚資料館

② 施設の老朽化

開館後の経過とともに施設劣化等が発生しています。田原市博物館は、開館20年が経過し、空調系統など随所に支障をきたしている状況です。

渥美郷土資料館は開館後30年経ち、2階建て構造でバリアフリー化が進んでいないため、利用面で大きな支障があります。ソフト面では常設展示も開館当初からほとんど変わっていません。

(6) 資料整理の課題

資料の収蔵施設は、田原市博物館、渥美郷土資料館、赤羽根文化財収蔵庫、崑山会館などに分散している状態で、移動距離や整理時間の確保が課題です。また近年の寄贈資料の増加もあり、ますます収蔵場所の確保が課題となっています。また収蔵資料の再整理（データベース化）が不十分なため、収蔵資料や収蔵場所の把握及び情報の共有化が困難な状況となっています。博物館資料は、近年の予算縮小により作品収集が減退し、既得資料の活用が課題となっています。また博物館資料の調査研究時間の確保が難しい状況ともなっています。

2. 今後の解決策

これまで博物館のもつ課題を検討してきました。今後取り組むべき方向として次の対策を実践していきます。

(1) 入館者数のアップ

田原市博物館は、初期から崑山専門館としてスタートした博物館です。しかし20年経過した現時点で、運営方針を一部見直し、崑山やふるさと作家等の展示も継続しつつ、さらに集客力の見込める他の企画事業も盛り込んだものへとシフトチェンジする必要があります。入館者数の目標値を年間2万人とし、顧客ターゲットとして、子どもから大人まで幅広く年齢層を広げるとともに、特に子ども対

象の企画により家族ぐるみで親しめる、「わがまちみんなの博物館」を目指します。

具体的な企画展の開催回数は年間4回程度とし、そのうち華山等ふるさと作家中心の企画を1~2回、市民が関心を持つ様々なテーマの企画等を1~2回展開します。展示構成も、子どもにもわかりやすく興味を引くような内容を工夫します。

まちなかの身近な博物館とするため、博物館本体の利用形態を見直すとともに、子どもやファミリー向けの優待制度等を積極的に導入します。

(2) 広報・広聴の工夫

広報活動としては、マスコミの有効活用（新聞・テレビ）を図るほか、PR手法（ホームページ・ポスター・チラシ・ハガキ等）を工夫し効果的な広報を行うとともに、学校との連携も強化します。

広聴面では、利用者アンケート等のほか、市民の声、博物館協議会、文化財保護審議会等の意見も参考にし、利用者目線に立った企画運営を図ります。



田原市博物館

(3) 関係機関との連携

市内外の関係機関との強力な連携を構築します。市役所においては、図書館や生涯学習、広報、観光などの部署との連携に向けて、博物館サイドから積極的な情報発信を図ります。

豊橋、豊川等の近隣市の博物館、美術館等とは、共同企画展やラリー形態での連携事業推進を図ります。また新しい三河田原駅とのつながりを活かし、ホテル・旅館・道の駅等の民間施設へのシンボル展示も行うなど、アピール力を高めつつ連携強化を図ります。

文化協会、華山会、糟谷磯丸顕彰会、地域コミュニティ協議会等との連携強化を図るため、委託・補助・支援事業を検討します。

博物館友の会の支援力を高めるため、友の会会員のメリット（友の会限定の企画等）を見直すとともに、博物館協力サポーターとしての友の会会員の意識高揚を図ります。また、講座、教室、監視員などを通じ博物館事業の補助ボランティアとしての参画を図ります。

(4) みんなが楽しめる企画

教育普及活動として、博物館講座・教室を積極的に開催します。特に子どもにとっても親しみを感じる博物館とするため、学校連携の一環としてお届けする博物館（出前講座）をはじめ、体験学習、体験プログラムの実施や、子ども向け解説ガイド（まんが等活用）を作成します。またふるさと学習（総合学習）支援や、教員向けの講座も開催します。

今すぐに行ける身近な博物館のイメージ戦略として、移手段（パス）の確保や、貸出キット（体験キット等）の作成、解説職員（学芸員）の確保・育成を図ります。また解説方法の解り易さや親しみを工夫するとともに、博物館ボランティアガイドの育成を図ります。

(5) 施設機能分担の明確化

棲み分けがはっきりしていないとされる関連施設の機能分担を、次のように明確にします。

- 田原市博物館は、テーマのマンネリ化を避け、多様なテーマの企画展・平常展の開催や二ノ丸櫓等を利用した歴史資料の展示を行います。
- 渥美郷土資料館は、考古資料に特化するか通史プラス考古資料とするかに分かれるところですが、展示のリニューアル（考古資料中心、保美貝塚等）を図ります。また渥美文化会館への転化案もある貸しギャラリー機能の存続も検討します。

- 民俗資料館は、休館試行運用の結果を踏まえつつ展示のあり方を工夫します。
- 吉胡貝塚資料館は、吉胡貝塚に特化し、常設展示、体験学習、屋外展示、公園の構成で運営します。
- 皿焼古窯館は、引き続き皿焼12号窯保存施設としての公開展示を行います。
- 赤羽根文化会館展示室は、貸しギャラリーの需要を把握しつつ今後のあり方を検討します。

なお施設の改修として、田原市博物館は空調設備の改修を順次進めます。また常設展示室のリニューアル時期を検討します。渥美郷土資料館は、自動ドア、エレベーター等のバリアフリー化を図ります。

(6) 資料整理の工夫

収蔵施設の集約化として、美術資料や歴史資料は田原市博物館、渥美郷土資料館、郷土資料展示収蔵館に収蔵します。また民俗資料は統廃合後の小中学校校舎の活用も視野に検討します。考古資料は赤羽根文化財収蔵庫（旧成章高校赤羽根校舎）や田原市博物館、郷土資料展示収蔵館に収蔵します。

人材活用として専任の職員を配置し、寄贈資料等を整理します。また文化財保護審議会委員等の学識者の知識・スキルを活用し、美術・歴史・民俗資料の収集に努めます。パソコンを利用した収蔵資料の再整理（データベース化）を行います。



田原市民俗資料館

(7) 新たな企画展のイメージ

新たな企画展のイメージづくりは大切です。例えば平成26年度には豊橋鉄道展などを開催していきます。平成26年が高師・三河田原間渥美線開通90周年（渥美電鉄開業大正13年（1924年））にあたることや、ニュー三河田原駅オープンを機に、鉄道展を開催しようとするものです。

写真等パネル、鉄道資料、鉄道模型、ミニチュア等を展示します。ジオラマ化、三河田原駅、サンテパークとの連携性も考え、またオプションで半島内鉄道めぐり（バスツアー）の実施も企画します。

こうした新たな企画を試みながら、市民や訪れる方にとって身近な「わがまちみんなの博物館」を目指します。



三河田原駅

田原市博物館

年報 第21号

平成26年7月10日発行

編集・発行 —— 田原市博物館

〒441-3421 (田原城跡内)

愛知県田原市田原町巴江11-1

TEL0531-22-1720

<http://www.taharamuseum.gr.jp>